

【工事内容】例
 浴室、縦手すり（浴槽に入る用）縦手すり（浴槽から出る用）横手すり（浴槽から立ち座り用）
 玄関 L字手すり（玄関の上り框昇降及び扉までの移動用）

住宅改修が必要な理由書(記入要領)

< 基本情報 >

(P1)

| | | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------|------|-------------|-------|--|
| 利用者 | 被保険者番号 | 〇〇〇〇〇 | 年齢 | 76 歳 | 生年月日 | 明治 2年 4月 1日 | 性別 | <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| | 被保険者氏名 | 介護 太郎 | 要介護認定(該当に) | 要支援 | 要介護 | | 新規申請中 | |
| | 住所 | 調布市〇〇 - 〇〇 | | | | | | |

| | | | | |
|-----|-------|---|-----|-----------|
| 作成者 | 現地確認日 | 平成30年9月1日 | 作成日 | 平成30年9月1日 |
| | 所属事業所 | 〇〇ケアプランセンター | | |
| | 資格 | 介護支援専門員 <input checked="" type="checkbox"/> 包括職員 その他 () | | |
| | 氏名 | 〇〇 〇〇 | | |
| | 連絡先 | 〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 | | |

| | |
|--|--|
| 介護支援専門員等 利用者へ 複数の住宅改修の事業者から見積もりを取るよう、利用者に対して説明しているか | はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ |
|--|--|

| | |
|------------------------|--|
| 理由書作成時の病院・施設等への入院入所の有無 | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
|------------------------|--|

< 総合的状況 >

| | | | |
|---------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 利用者の身体状況 | ○ 両膝変形性膝関節症で、痛みが強く、歩行が不安定。 屋内は壁伝いでゆっくり1人で歩行しているが、段差昇降や扉の開閉ではふらつく。部屋の敷居段差で1度転倒したことがある。屋外は介助歩行。 | 福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定 | |
| | × | 改修前 | 改修後 |
| | 【ポイント】 移動や立ち上がり、姿勢保持といった日常生活における身体状況について記述する。 屋内及び屋外での移動時、また、段差や階段などの昇降動作時に実際にどのような状況なのかを記述する。 (自立、壁や物に伝い歩き、介助歩行、歩行器利用、など) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 介護状況 | 現在、主な介護者や家族が、住宅改修箇所に対してどう関わっているか。利用しているサービスなどを記述する。 | 車いす 特殊寝台 | |
| 住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか | ○ 日常生活を送る中で、身体機能の維持を本人が希望している。 2階にある寝室への階段昇降移動が可能となることで、今までどおり自分の部屋で寝ることができる。 デイサービスや散歩などの外出が可能となることで、社会参加や身体機能の向上が期待される。 入浴が可能となることで、日常生活の中でお風呂でリラックスできる1人の時間を取ることができる。 | 床ずれ防止用具 | |
| | × | 体位変換器 手すり スロープ 歩行補助つえ | |
| | 階段で2階を行き来する際、ふらつきやすく不安を感じている。手すりを利用することで不安を解消したい。 玄関に手すりを設置することで転倒の不安を感じることなく、安全に外出したい。 浴室に手すりを設置することで、安心して入浴機会を設けたい。 | 認知症老人徘徊感知機器 移動用リフト 腰掛便座 特殊尿器 入浴補助用具 簡易浴槽 その他 | |
| | 【ポイント】 住宅改修によって利用者及び家族は介護状況、ADL、社会参加など、日常生活をどう変えたいと思っているのか(特に何を希望しているのか)、また、その効果を記述する。 | | |

住宅改修が必要な理由書

(P2)

< P1の「総合的状況」と踏まえて、改善をしようとしている生活動作 具体的な困難な状況 改修目的と改修の方針 改修項目を具体的に記入してください。 >

| 活動 | 改善をしようとしている生活動作 | 具体的な困難な状況(...なので...で) | 改修目的・期待効果をチェックした上で、 | |
|--------|--|---|--|--|
| 排泄 | | <p>【ポイント】 生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。ここでは、改善しようとする行為に限定した記述で構いません。生活のどの場面、どの動作が利用者にとって大変なのかを、第3者が文章を読んでも状況をイメージができるように具体的に記述する。</p> <p>【下記の記入例】 ○ はフチに掴まっている、右足を上げて出入りしているなど、具体的にイメージがしやすい。 × はふらつきがある、バランスを崩しやすいなど、危ないことは読み取れるが、どう危ないのかが不明確である。</p> | | <input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取り付け 縦手すり (浴槽に入る用) 縦手すり (浴槽に入る用) 横手すり (浴槽から立ち座り用) L字手すり (玄関用) 連続手すり (階段用) 段差の解消 () () () |
| 入浴 | 浴室までの移動 衣服の着脱 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) 浴室内での移動(立ち座りを含む) 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 その他() | <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽フチに掴まりながら浴槽の出入りを行っているため、滑って転倒する危険性があり不安を感じている。右足を上げて出入りをする習慣があり、浴槽に入る箇所と出る箇所が違う。また、浴槽のフチをつかみながら、姿勢保持や浴槽からの立ち座りを行っているが、何度が滑っている。 × 浴槽の出入りや立ち座りの際に、ふらつきがあるため、バランスを崩し、転倒する危険がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他() | <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽の出入りのそれぞれの箇所に縦手すりを設置することで、安全な浴槽の出入りが図られる。() 浴槽の横に横手すりを設置することで、安全に浴槽内の姿勢保持や立ち座りを行える。() × 浴室内の必要な箇所に手すりを設置することで、安全な入浴につなげていきたい。() |
| | <p>【下記の記入例】 ○ バランスを崩しやすいため、下駄箱に手を付いているといった具体的な状況が明確。L字手すりの縦、横部分の用途についての記述もある。 × 玄関でどう危険なのかが不明確。L字手すりの縦横それぞれの用途に触れていない。</p> | | | |
| 外出 | <input checked="" type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input checked="" type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 車いす等、装具の着脱 <input checked="" type="checkbox"/> 履物の着脱 出入口の出入 (扉の開閉を含む) 出入口から敷地外までの屋外移動 その他() | <input checked="" type="checkbox"/> 玄関の上がり框の昇降時や靴の着脱時、扉までの移動時にバランスを崩しやすく、下駄箱に手を付きながら行っている状況である。 × 玄関の上がり框の昇降時にバランスを崩す可能性が高く、危険である。 | <input checked="" type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 | <input checked="" type="checkbox"/> 玄関にL字手すりを設置することで、縦部分で玄関の上がり框の昇降時や靴の着脱時のバランス保持、横部分を伝い、扉までの移動をスムーズに行えるようにする。() × 玄関にL字手すりを設置することで、玄関での動作を安全に行える。() |
| | <p>【下記の記入例】 ○ 2階の寝室に行くという目的が明確。壁に手を付きながら階段を昇り降りしているという具体的な状況が明確。 × 2階に何をしに行くのか、どう危険な状況なのかが不明確。</p> | | | |
| その他の活動 | 1階～2階の階段昇 | <input checked="" type="checkbox"/> 2階の寝室に行くために、階段昇降をするが、ふらつきがあり、壁伝いの状況である。 × 2階に行くため、階段昇降をするが、転倒しそうで危険な状況である。 | <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他() | <input checked="" type="checkbox"/> 階段に設置された連続手すりを掴むことで、ふらつくことなく階段昇降を行うことができ、安心して寝室まで移動することができる。 × 階段に連続手すりを設置することで、階段昇降をスムーズに危険なく行うことができる。 |
| | | | | 引き戸等への扉の取替え () () 便器の取替え () () () 滑り防止等のための床材の変更 () () その他 () |